

メッセージ Message from leaders



YIC保育&ビジネス専門学校

本校は今年3月に開校し8年の歴史に幕を閉じました。ITビジネス学科、こども学科合わせた卒業生は120名を超え、各々IT、ビジネス、保育などの分野で活躍しています。2年間の在学中、学生一人ひとり大きな成長を遂げました。これも、教職員全員が日々研鑽し、真摯な姿勢で学生と向き合ったからこそであり、教職員の皆さんには心から感謝いたします。また、地域社会に貢献するという本校の目標を果たせたとも感じています。卒業生も教職員も本校での様々な体験を心の糧として、今後ますます活躍されることを祈念します。



副校長 松本 和宏

京都中央学院

YIC京都校も開校14年目が終わり、この4月には15年目を迎えます。14年の年月の間に3つの専門学校と日本語学校を設置しました。開校当時は在校生が200名もいない状況でしたが、次年度は約900名の在籍を抱える大きな学院となります。さらに今後は1000名の学生在籍数をめざし、これからの5年先を、また10年先を見据えて地域の方に愛される、地域の方から選んでいただける、地域の発展に繋がるYIC京都となるように京都校の教職員が一丸になって取り組んでいきます。京都校教職員の皆さん、「ONE TEAM」でがんばっていきましょう!!



京都地区本部長 細田 元一

保育事業部

宇部に4園、5月には下関長府に新園が誕生します。今後も他園との差別化を図り、さらにはYICの強みを活かした新規事業の展開を進めていきます。地域に愛される園をめざすには、人も環境も常にバージョンアップを図ることが重要だと感じており、先生方には変革を恐れず柔軟性を持って共に歩んで欲しいと願っています。保育はただ「子どもが好き」というだけではできないと痛感する日々です。子どもたちが笑顔でかわいいなと思える環境づくりをしてくれている先生方に心より感謝しています。これからも初心を忘れず笑顔で欲しい、皆がHAPPYで働ける環境づくりに尽力します。



園長 山下 早苗

リカレント事業部

「小中高生などのキャリア教育」と「訓練や氷河期支援を活用した学び直し」の2つを軸とした人材育成・教育サービスを提供し、地域ナンバーワンの実績と信頼を得ることが最も大切だと考えています。そのためにメンバーには個々の特徴を活かし、自分に何が必要なのかを考え行動できるような、自律型の職員になってほしいと願っています。前向きな行動に対しては支援を惜しみません。「お客様が満足できるサービスを提供する!」をモットーに、職員一人ひとりがYICのブランド力を高める活動をするのが我々リカレント事業部です。



副部長 宮本 直志

多々良幼稚園

本園は、平成19年4月に全園児数88名、職員11名でスタートしました。井本園長から「10月1日に願書受付開始、即締切!をめざそう!」と言われ、当初は頂上が見えない山の前に立ったような感じがしましたが、ただがむしゃらに職員と共に登り続けました。14年経った今、安定的な園児数を確保できるようになりましたが、幼児教育・保育に頂上はありません。これからも刻々と変わる子どもたちの成長に寄り添い、質の高い教育・保育を、行ってまいります。また現場の職員が働きやすい環境づくりを目標に『呑牛之気(どんぎゅうのき)』で臨みます!共に歩んでいきましょう!



副園長 石川 進治

株式会社YICトラスト

YICトラストは平成21年希望苑設立からの約10年間で、地域の皆様に求められる施設に成長してまいりました。これも、日々利用者様に寄り添ったケアをしてくださっている介護・看護・事務・調理すべてのスタッフのお陰だと深く感謝しています。これからは、コロナなどの環境下でも、大転換期を好機に変えられる、皆様のアイデア、失敗を恐れずチャレンジしていく行動力を期待しています。代表が言われるように、スタッフ一人ひとりの幸福を願い、福祉の仕事に就いて良かったと思える環境づくりに努めます。そして、常に地域の方々から求められる高齢者施設であり続け、県内で認められる施設へと成長させていきたいと思っております。



統括施設長 栗山 麻美

YICグループ沿革

- | | | | |
|----------|--|----------|--|
| 平成2年 4月 | 山口情報ビジネス専門学校開校(宇部市)
現 YICビジネスアート専門学校 | 平成20年 4月 | 校名を変更して現在に至る
株式会社YICトラスト 福祉施設 希望苑開設
YIC京都ビューティ専門学校 開校(京都市) |
| 平成4年 4月 | 山口電子ビジネス専門学校開校(周南市)
現 YICキャリアデザイン専門学校 | 平成22年 4月 | YIC看護福祉専門学校 看護師養成所を新設 |
| 平成9年 4月 | 防府福祉医療専門学校開校(防府市)
現 YIC看護福祉専門学校 | 平成23年 4月 | YIC Studio 完成(山口市) |
| 平成14年12月 | 株式会社YICトラスト設立(宇部市) | 平成25年 4月 | YIC保育&ビジネス専門学校開校(光市)
YIC京都ペット総合専門学校開校(京都市) |
| 平成15年 4月 | 山口医療福祉専門学校開校(宇部市)
現 専門学校YICリハビリテーション大学校 | 10月 | 株式会社YICトラスト 福祉施設 第2希望苑開設(宇部市)
ベトナム ビンズン省 日本語教育センター「寺小屋」開設 |
| 平成18年 1月 | 専門学校YICグループ代表 井本浩二就任 | 平成26年 4月 | 株式会社YICトラスト 福祉施設 第3希望苑 開設(宇部市) |
| 4月 | 山口情報ビジネス専門学校新山口校開校(山口市)
現 YIC公務員専門学校
山口ビューティモード専門学校開校(周南市)
現 YICビューティモード専門学校 | 平成27年 4月 | 学校法人中央学院・学校法人昇陽学院を
学校法人YIC学院に統合 |
| 平成19年 4月 | 学校法人京都中央学院 京都中央工科専門学校開校
現 (専)YIC京都工科自動車大学校
学校法人YIC学園 多々良幼稚園開園(防府市) | 平成28年 4月 | YIC京都日本語学院 開校(京都市) |
| 平成20年 1月 | 専門学校YICグループを
「Your Institute of Community Education」
「地域の発展に貢献する地域の皆さんのための教育機関」として
アイデンティティ定義 | 平成29年 2月 | 企業主導型保育所 YICキッズ開園(宇部市)※山口県初 |
| | | 平成30年 4月 | 企業主導型保育園 YICキッズテクノパーク開設(宇部市)
小規模認可保育園 YICキッズ黒石保育園開設(宇部市) |
| | | 平成31年 4月 | 企業主導型保育園 YICキッズ新山口開設(山口市) |



結ぶ絆 地域とともに

YICグループ30周年記念誌

YICの未来について語る。

井本代表×若手代表 30周年記念誌特別対談

(井本)「これは!」と思うYICでのチャレンジはありますか。

(橋口)私のチャレンジは、今まで受け入れのなかった官公庁でのボランティア活動やインターンシップ実習です。上司からアドバイスをいただいて交渉に望んだ結果、ありがたいことに今年度から受け入れていただくことになりました。学生の就職につながる可能性が膨らみ嬉しかったとともに、新しい取り組みに関して、背中を押してくれた上司のおかげで自分自身の自信にもつながりました。時代に合った新しい取り組みを提案していくことが、これからのYICを作っていくことにつながると感じています。

(司会)西尾さんはいかがですか?

(西尾)本園では私の想いや、やりたいことを大事に受け止めてくれて、失敗したとしてもチャレンジさせてくれます。それは最初からずっと変わりません。



(司会)ライフステージが変わっても働き続けたいですか。

(西尾)はい!結婚後も子育て中も働きたいと思える職場です。学生時代、実習で初めて訪れた時から、多々良幼稚園から感じる、家のような家族のような雰囲気が大好きです。今日

の対談で、良い刺激を受けました。次回、このような機会があれば、良いことばかりではなく、今できていないことや足りないことも話したいです!

(井本)若手が失敗したとしてもみんなが笑顔で乗り越えられる環境を私が作ります。ぜひ、チャレンジし続けてください。常にチャレンジしていきましょう!



(井本)あつという間の30年でした。いろいろな方のご縁があって今があると実感します。皆さん20代ということで、30周年を迎えるYICグループより年下ということですね。

(橋口)自分が生まれるより前からYICがあったことに驚いています。

(司会)縄田さんは、入社時から振り返ってみていかがですか。

(縄田)短大卒業後、事務や社会のことなど全く分からず入社した私ですが、これまで楽しく働いて来られたのは、周りのスタッフやすべての人に助けられたからです。私は人の縁に恵まれています。

YICトラストには、「どうやったら利用者さんに選んでもらえるか」みんなで考える風土があります。入社から6年が経ち、できることも増えました。今は、経理の勉強と、職員の離職

率を減らすことが利用者さんの増加に繋がると思い、がんばっています。

(司会)荒木さんはいかがですか?

(荒木)私は、「YICの卒業生はさすがだね」と言っていただけの学生の人間性を育てたいと思っています。多くの卒業生が活躍しているサロン(店舗)があります。企業様にも「YICの卒業生なら」ということで採用していただいています。そんなサロンを増やしたいし、「YICの卒業生」というブランドを作りたいです。そのために、知識や技術はもちろんですが、学生の人間性を育てることを大切にしています。



(井本)具体的にはどんなことですか。

(荒木)社会人の基本である挨拶と返事ができること。ベースは素直さと愛嬌です。お客様と職場の人たちにかわいがっていただける、長く活躍できる人材を育てることが目標です。(井本)同感です。挨拶と返事は、どんな業界でもとても大切なコミュニケーションの第一歩です。私たちの仕事は、人との関わりやご縁をいただくことが一般の会社の20倍くらいあると感じています。人に会ってたくさん刺激を受けてください。

皆さんの成長を期待しています。

この対談の様子は、右のQRよりご覧いただけます。



メッセージ Message from leaders

YICグループも、早いもので30周年を迎えました。30年前、宇部にある新川校舎で当時のメンバーと一緒に必死で開校準備をしたことを、今でも昨日のこのように思い出すことがあります。

現在では、京都や幼稚園、トラストなど、グループも大きくなり、多くの素晴らしい教職員の皆様に恵まれ、30周年を迎えることができました。このことに、まずは心から感謝申し上げます。

30周年は一つの節目となりますが、私の想いは「100年続くYICグループを作りたい」ということです。私たちは経営計画書で、5ヶ年計画を作成していますが、私はこれを5ヶ年単位で考えるのではなく、毎年変化させる5ヶ年計画にする必要があると考えています。2020年、新型コロナウイルスにより今までの生活とは全く違った世の中になりました。しかし、大変なことだけでなく新しいイノベーションが起こるきっかけにもなりました。このような変化の激しい時代の中で、「100年続くYICグループ」であり続けるために、5ヶ年の中の1年で何をすべきか。スピード感を持って皆で考え、実行していきましょう。

そのためには、まずは「地域No.1」になることです。総合ではなく、すべての分野でNo.1です。誰もが知っているYIC、選ばれるYICブランドにしていきましょう。それが結果的に100年続く企業になると信じています。



グループ代表 井本 浩二

30周年に際し、今まで築かれた多くの皆様へ感謝とこれから未来を築いていかれる皆様にエールをおくりします。YICグループは、1990年(平成2年)4月宇部市に山口情報ビジネス専門学校として、コンピュータ技術者の育成を目的に始まりました。そして、30年後の2020年(令和2年)YICグループも変化し続け、奇しくもバージョンアップした情報技術による急激なデジタル化により更に変化を求められています。「老舗」は新しいことにチャレンジし続け変化するからこそ「老舗」でいられる。100年続く教育機関の「老舗(伝統校)のYICグループ」を共に創り上げましょう。



常務理事 中谷 浩美

過去30年間を築いた教職員関係者に、まずは劣い感謝をしたい。YICグループは、地域・領域、提供サービスなど経営資源を最適化し、成長し地域貢献してきました。アフターコロナ時代は、少子高齢化、Society 5.0、人生100年時代などの課題に対応するステージとなります。今後、経営理念を共有し、柔軟かつ果敢に未来を見越した事業に挑戦していきましょう。質が問われる社会ニーズに対応した持続可能な体制を整え組織力向上をしましょう。そして、「不易流行」の精神を保ちながら、各自が主体的な創造をしていきましょう。



統括本部長 岡村 慎一

YICビジネスアート専門学校

YICグループと本校はともに30周年を迎えますが、「100年続く教育機関」になるためには、まだまだ道遠です。この度、時代の変革や地域ニーズに即して進化するため、「YIC情報ビジネス専門学校」に校名変更します。常に「学生ファースト」を考え、ヤフー株式会社や業界代表企業との連携、UdemyをはじめとするICT授業を活用して、よりレベルの高い教育機関となります。本校は県内最大の学科数を持っています。学生のために日々努力していただいている教職員の皆様には心から感謝します。そして、どのような時代でも乗り越えられるスキルアップと自己啓発を期待しています。



副校長 河津 道正

YIC公務員専門学校

実績を積んだ10年から、質を上げる10年へ。本校はこれまで、常に学生と真摯に向き合い、学生の夢を叶えるための教育活動に地道に取り組んで参りました。おかげさまでその成果は口コミとして広がり、多くの高校生や、保護者から選んでいただける学校へと成長することができました。次の目標は、就職先の「質」にこだわっていくこと。そのためには私たち教職員もより一層向上していくことが求められます。ともに働く教職員には、これまでの取り組みに心からの感謝を示すとともに、これからの目標達成に向けて、より一層の期待を寄せたいと思います。



副校長 田中 秀樹

YICビューティモード専門学校

YICグループが30周年を迎え、その歴史の一部に携わることができ、大変光栄です。また、山口県内で唯一無二の専門学校グループとして成長したのは、教育の良さと卒業生とのつながり、そして地域からの認知など、地域と共に成長してきた積み重ねだと感じています。教職員においては、現場経験が豊富で、技術指導や美容業界以外の情報にも精通しており、当校の自慢です。毎日全力で学生のことを考え、そして支えてくれ、本当に感謝しかありません。これから時代の流れに添って新しい教育の形を作っていきます。今後、より一層発展していくために、トライ&エラーでまず行動していく姿勢で臨みます。



教務課長 千村 希人

専門学校YICリハビリテーション大学校

30周年を迎えたYICグループ内で、2003年開校の本校は比較的新しい学校であるが全教職員が自負しています。これまで本校は時代の流れに対応すべく、数々の新規事業にYICグループ内だけでなく、全国的にも先陣を切って取り組んで参りました。これからの30年、その先の未来も目まぐるしく変化する教育環境や医療情勢に柔軟に対応しながら、教職員が一丸となり、トップダウンで降り注ぐ新規事業に物怖じせず矢面に立ち、YICグループの発展に寄与していきたいと思っております。良いと思うことはなんでもチャレンジして変革し続けることができる若々しい学校体制でありたいと思っています。



副校長 藤井 昭宏

YIC看護福祉専門学校

本校は、1997年に「府府福祉医療専門学校」として開校以来、時代の要請に即して医療・福祉に携わる専門職の育成に努めています。自然災害の多発、新型コロナウイルス感染症の発生・感染拡大など、国難の中、近年、医療・福祉界が経験したことのない事態が発生していますが、学生たちは、授業体制や実習形態の突然の変更にも見事に順応しています。この頼もしい後輩たちのために、柔軟な発想と変革への勇氣を持ち、他の養成校にはないフロンティア上の魅力的な専門職教育、人々の健康や生活に寄り添う未来のライフパートナーの養成に一丸となって取り組まします。



副校長 野崎 美紀

YICキャリアデザイン専門学校

発想の原点は「ないものねだり」です。「あったらいいな!こんなもの」がヒントになり、新しいモノ・コト・ヒトは創り出されます。自分が生まれ育った「街の力」となるため私たち「学校」は全力で学生をサポートし、そこに集う人たちが力を発揮できるようサポートするなど、未来を担う「若い力」と一緒に地域発展の要となってきました。不安が消えない世の中で、今後も企業・行政・学校・社会と連携していくためには、夢を追い求める学生たちがダイナミックに想像し、システマチックに創造することが重要なテーマです。新しい時代を築くトップランナーとして「デザインの力」を爆発させてほしいと願っています。



副校長 貞廣 安彦



左から 株式会社YICトラスト 縄田 菜 YICグループ代表 井本 浩二 多々良幼稚園 西尾 杏 YIC京都ビューティ専門学校 荒木 真衣 広報戦略室 小田 政江(司会) YIC公務員専門学校 橋口 浩太